

社会情勢の変化・現状と課題

高速道路の延伸 ⇒ 関西圏と直結

地方の活力低下<地方創生の取組>

少子高齢化・人口減少の進行

地域経済の縮小

切迫する自然災害リスク

グローバル化の進展

環境問題の深刻化・多様化

高度情報化の進展

【基本目標】「まもる」まち・とくしま

～市民の笑顔を「まもる」まちづくり～

○命をまもる

～災害や病気から市民の命をまもるまち～

○暮らしをまもる

～安全で快適な生活基盤で暮らしをまもるまち～

○環境をまもる

～地球環境と、美しく豊かな生活環境をまもるまち～

<広域連携>

▶ 一般廃棄物
中間処理施設の
広域整備推進

<災害への備え>

▶ 既存木造住宅
耐震化率
100%

【将来像】

笑顔みちる水都 とくしま

つなぐ

笑顔
倍増

まもる

おどる

【基本目標】「つなぐ」まち・とくしま

～未来に笑顔を「つなぐ」まちづくり～

○次世代につなぐ

～未来を担う次世代を育むまち～

○社会をつなぐ

～支え合い、安心して暮らせるまち～

○心をつなぐ

～個性が輝き、心豊かに暮らせるまち～

<子育て支援>

▶ 待機児童ゼロ

<教育環境向上>

▶ 幼小中エアコン
小中無線LAN
整備率 100%

【基本目標】「おどる」まち・とくしま

～活力ある笑顔が「おどる」まちづくり～

○まちがおどる

～人々を惹きつける魅力的で機能的なまち～

○夢がおどる

～誰もが夢を抱き、働く希望に胸がおどるまち～

○ひとがおどる

～市民一人ひとりが主役となり、いきいきと輝くまち～

<中心市街地の活性化(歩いて暮らせる、歩いて楽しめるまち)>

▶ 新町西地区の新たなまちづくり
▶ 川の駅ネットワークの構築
▶ DMOの設置

▶ 新ホールの開館
▶ シンボルゾーン・眉山山頂の魅力アップ
▶ 鉄道高架事業の推進

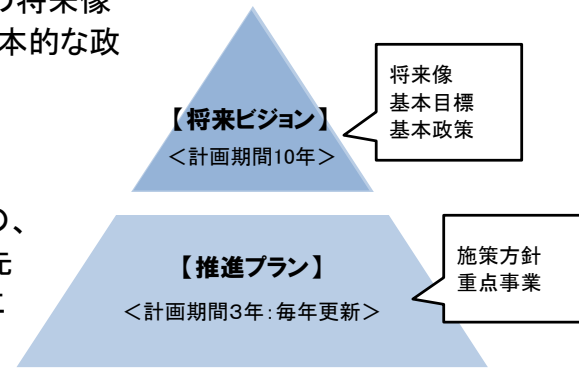
徳島市まちづくり総合ビジョンの構成

■ 将来ビジョン

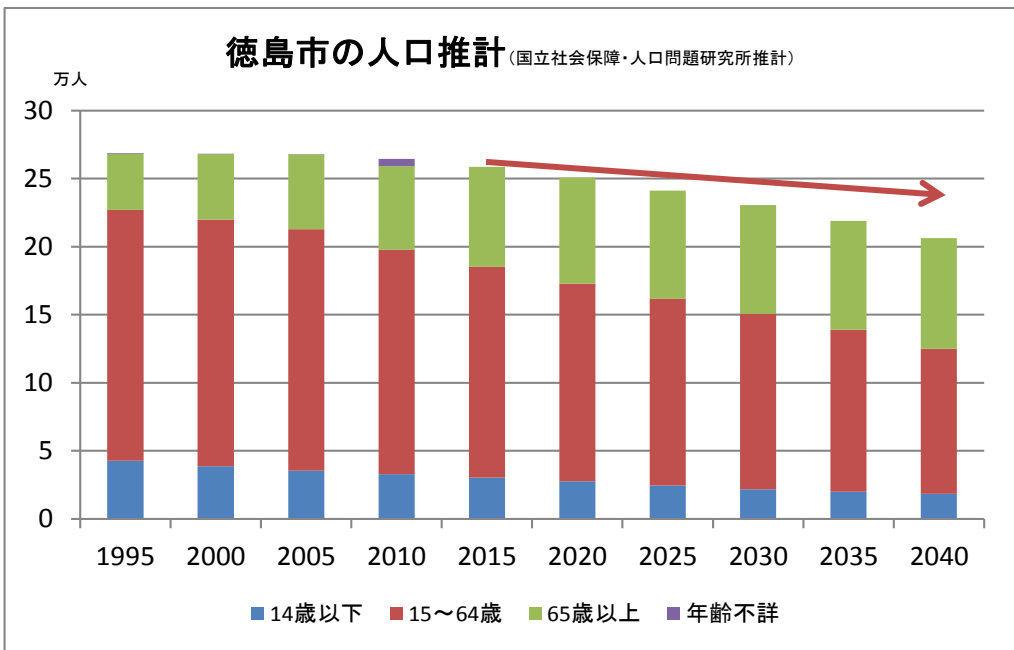
中長期的な観点から、まちの将来像や、それを実現するための基本的な政策等を明らかにする計画

■ 推進プラン

将来ビジョンに基づく取組の、より具体的な施策方針や優先的に取り組む事業を明らかにする計画



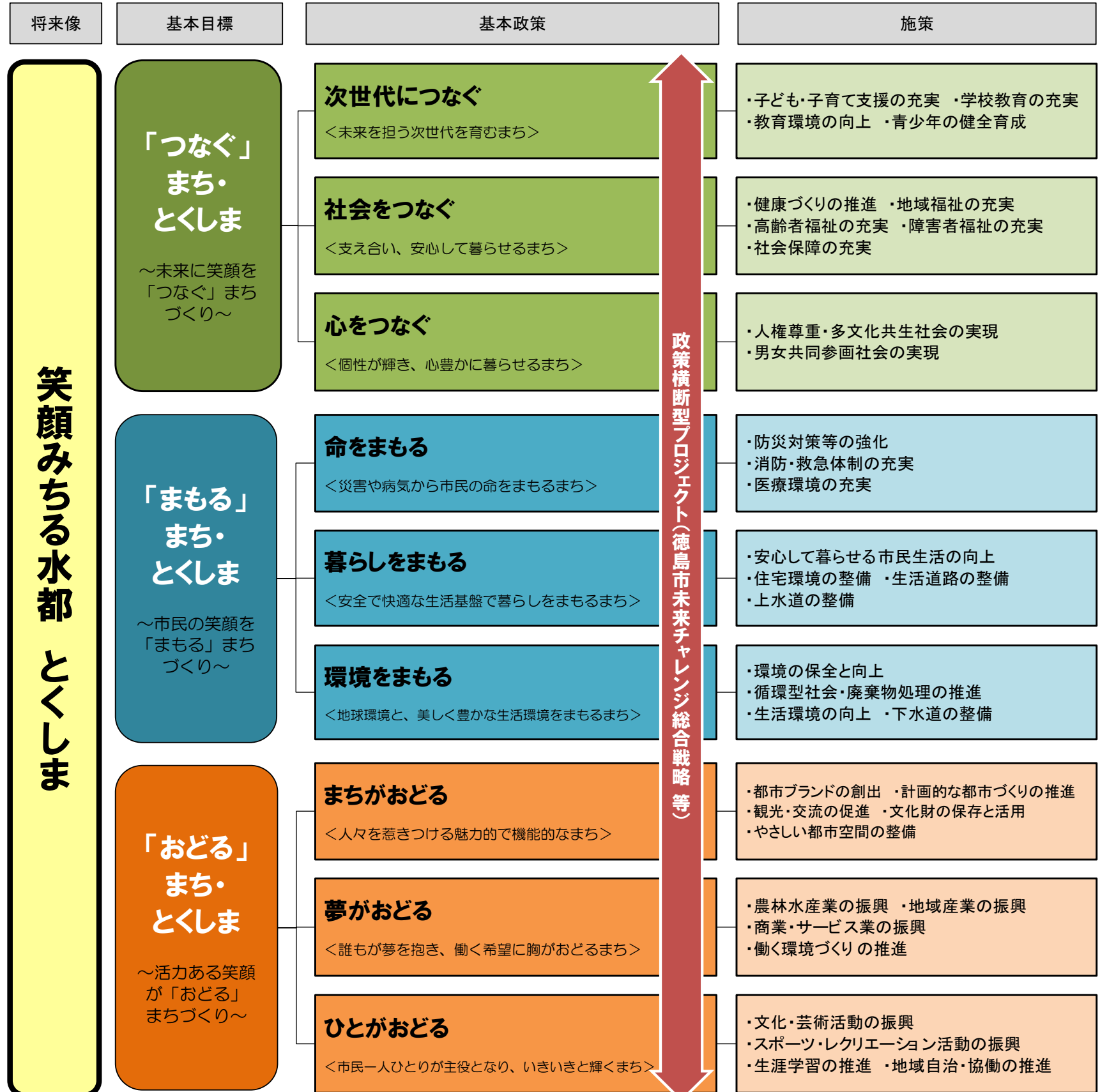
少子高齢化・人口減少の進行を克服



<政策横断型プロジェクト>
徳島市未来チャレンジ総合戦略

2060年に24万人超の人口を維持

<徳島市まちづくり総合ビジョンの施策体系>



基本目標1 「つなぐ」まち・とくしま の実現に向けて

●基本政策1 次世代につなぐ

市民の子育ての希望をかなえる、子ども・子育て支援策を充実させます。また、全ての子どもたちが適切な教育を受けられる環境や、快適な学びの場を充実させるとともに、地域ぐるみで子どもたちの成長を支援します。



○主な成果指標

- ・出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合 52%[H27] ⇒ 70%[H38]
- ・子どもたちが充実した学校生活を送っていると感じる市民の割合 62%[H27] ⇒ 80%[H38]
- ・幼稚園及び小・中学校へのエアコン導入率 0%[H28] ⇒ 100%[H38]
- ・不登校児童の割合(小学校) 0.30%[H27] ⇒ 0.18%[H38]

●基本政策2 社会をつなぐ

地域社会と行政が連携して、年齢や障害の有無等にかかわらず、全ての人々が生きがいを持って活躍し、安心して暮らせる社会を構築します。また、市民の健康づくりの推進や生活困窮者の自立を支援します。



○主な成果指標

- ・糖尿病有病者及び予備群の割合 25.1%[H27] ⇒ 23%[H38]
- ・ボランティア団体登録数 267団体[H27] ⇒ 330団体[H38]
- ・老後も安心して生活できると感じる市民の割合 45%[H27] ⇒ 60%[H38]
- ・障害福祉サービス利用実人数 3,766人[H27] ⇒ 5,200人[H38]
- ・特定健康診査受診率 32.6%[H27] ⇒ 60%[H38]

●基本政策3 心をつなぐ

人々の価値観の多様化や、男女の役割の変化、国際化の進展など社会構造の変化に対応し、誰もが人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える共生社会を構築します。



○主な成果指標

- ・人々の人情が厚いと感じる市民の割合 59%[H27] ⇒ 70%[H38]
- ・本市主催の人権教育・啓発に関する啓発事業等への参加者数 45,223人[H27] ⇒ 50,000人[H38]
- ・女性が働きやすいと感じる市民の割合 35%[H27] ⇒ 50%[H38]
- ・市の審議会等への女性委員の登用割合 26.4%[H27] ⇒ 40%[H38]

基本目標2 「まもる」まち・とくしま の実現に向けて

●基本政策4 命をまもる

南海トラフ地震など大規模自然災害のリスクの高まりに対して、地域、市民、行政が一体となって災害に強いまちづくりを行うとともに、事故、病気など様々なリスクから、市民の尊い命を守る消防・救急体制や医療環境が充実したまちづくりを推進



○主な成果指標

- ・災害への備えが整っていると感じる市民の割合 23%[H27] ⇒ 50%[H38]
- ・地区別津波避難計画策定数 1地区[H27] ⇒ 19地区[H38]
- ・住宅用火災警報器の設置率 77%[H27] ⇒ 100%[H38]
- ・市民病院の患者満足度(入院) 88.7%[H27] ⇒ 93%[H38]

●基本政策5 暮らしをまもる

道路や水道、住宅などの社会基盤を適切に維持管理・運営するとともに、消費生活に関するトラブルや交通事故を防止し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。



○主な成果指標

- ・消費生活に関するトラブル(苦情)の件数 1,155件[H27] ⇒ 800件[H38]
- ・既存木造住宅の耐震化率 77.7%[H27] ⇒ 100%[H38]
- ・緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうの耐震化率 47%[H27] ⇒ 100%[H38]
- ・上水道普及率 92.3%[H27] ⇒ 94%[H38]

●基本政策6 環境をまもる

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制した低炭素社会、貴重な資源を大切にする循環型社会を構築するとともに、美しい河川や空気などの身近な自然環境を保全し、悪臭や騒音、不法投棄の無い衛生的な生活環境を維持します。



○主な成果指標

- ・自然が豊かであると感じる市民の割合 77%[H27] ⇒ 90%[H38]
- ・市民一人一日当たりのごみ排出量 1,084g[H27] ⇒ 906g[H38]
- ・不法投棄通報件数 201件[H27] ⇒ 150件以下[H38]
- ・汚水処理人口普及率 73.7%[H27] ⇒ 90%[H38]

基本目標3 「おどる」まち・とくしま の実現に向けて

●基本政策7 まちがおどる

コンパクトで利便性の高い集約型の都市構造を形成するため、魅力的な都心部の形成、周辺部における地域の特性を生かしたまちづくりの推進、利便性の高い交通ネットワークの構築に取り組みます。あわせて都市のブランドイメージを向上し、求心力の高いまちづくりを推進します。



○主な成果指標

- ・徳島市に住みたいと思う市民の割合 77%[H27] ⇒ 90%[H38]
- ・中心商店街の歩行者通行量(平日と休日の平均値) 21,033人[H26] ⇒ 増加に転じる[H38]
- ・宿泊者数 63万人[H27] ⇒ 70万人[H38]
- ・地域の歴史や伝統が継承されていると感じる市民の割合 45%[H27] ⇒ 60%[H38]
- ・施設整備完了した街区公園数 5公園[H27] ⇒ 98公園[H38]

●基本政策8 夢がおどる

地域の特色を生かした競争力の高い産業の育成や農産物のブランド化に取り組むとともに、若者や女性が希望を持って働くことができる雇用の場づくりを推進します。



○主な成果指標

- ・認定農業者数 171経営体[H27] ⇒ 210経営体[H38]
- ・市内製造品出荷額(従業員4人以上) 5,322億円[H27] ⇒ 5,800億円[H38]
- ・年間商品販売額 2,322億円[H27] ⇒ 2,500億円[H38]
- ・働く場が充実していると感じる市民の割合 26%[H27] ⇒ 50%[H38]

●基本政策9 ひとがおどる

文化、スポーツや生涯学習など様々な市民活動を支援するとともに、地域自治やNPO活動などへの市民参加を推進し、市民一人ひとりが、まちづくりの主役としていきいきと輝くまちづくりを推進します。



○主な成果指標

- ・文化・スポーツに親しめる環境が整っていると感じる市民の割合 31%[H27] ⇒ 50%[H38]
- ・学校等と連携した文化・芸術プログラム実施回数 9回[H28] ⇒ 24回[H38]
- ・体育施設の利用者数 155万人[H28見込み] ⇒ 170万人[H38]
- ・図書利用(貸出)人数 27万人[H27] ⇒ 30万人[H38]
- ・NPOとの協働事業数 84事業[H27] ⇒ 120事業[H38]

行政運営方針

～市民目線で市民と共に歩む市政～

●市民参加の推進

市民に開かれた行政を推進するために、様々なメディアを通じた広報広聴活動を推進し、市民と行政相互の情報共有を促進するとともに、政策決定から実施まで、幅広い過程における市民参加を推進します。



●行政運営機能の強化

効果的な政策立案・推進に向けた職員力・組織力の強化、ICTを活用した業務基盤の充実や、中核市への移行を視野に、独自のまちづくりが可能となる行政権限の強化を推進します。また、近隣自治体との連携を深め効果的で効率的な行政運営を行います。

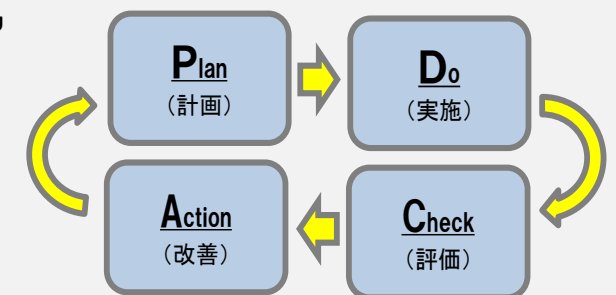
●健全な行財政基盤の確立

民間活力の積極的な活用や職員配置の適正化を推進するとともに、市税等の自主財源と併せてネーミングライツ等の様々な手法を用いることで歳入の確保に努めます。また、これまで以上に「選択」と「集中」を意識し、限られた資源(「ひと」、「かね」、「もの」)を有効に活用することで、重点的・効率的な行政運営を行います。

総合ビジョンの推進

●マネジメントサイクルの強化

計画、実施、評価、改善のPDCAサイクルを適切に運用し、市民への説明責任を果たしながら、より効果が高まるよう取組内容の改善を行います。



○推進のポイント

- ・全ての施策に将来像の実現度合いや、市民満足度を測る成果指標を設定しています。
- ・全ての重点事業に、取組の進捗度合いを図る事業目標を設定しています。
- ・市民満足度調査を実施するなど、進捗状況を客観的に測定し、市民と共有します。
- ・評価結果を業務改善や、次年度以降の取組へフィードバックする仕組みを強化します。